

1級建築士の製図講座

1. 製図講座の構成

製図講座は、下記1～4章での構成となります(2021年12月1日)。この中で最も重要な資料は、「4章 予測課題の解説」となります。「3章 過去問の項目別分析」も重要ですが、こちらは、その年度の課題発表までに過去問を把握するものです(製図も過去問学習は王道)。

- 1章 製図試験の現状把握
- 2章 センター標準解答図(H21～最新年度)
- 3章 過去問の項目別分析(H21～最新年度)
- 4章 予測課題の解説(H27～最新年度)

2. 製図試験に合格するためには

製図試験は、毎年、7月の課題発表までは、「過去問の分析」と「計画の要点等」の学習でよいです(作図は課題が発表後で十分)。過去問の学習は、「3章 過去問の項目別分析」でH21からR3までを各8項目に分けて、並べて分析しているの、それを学習すると良いです。計画の要点等は、「4章 予測課題の解説」の過去にまとめた各年度の「計画の要点等まとめ」を学習すると良いです。一番重要なのは、課題が発表されてから、その予測課題が的中することです。研究会では、過去6年間、連続で予測3課題が80%以上の中しています(下記R3検証表参照)。各資格学校の予測課題は、ほぼ毎週異なる課題が示され、その年度では15種類程度があります。その結果、どれかは試験と類似した内容となるが、あまりに情報量が多すぎて、結局何が出るのと疑問も生まれてしまいます。研究会では、学習時間の短縮等から予測課題は3案として、その3案で本試験の80%以上の的中を目指しています。更に、近年は、法適合への審査基準が非常に厳しい状況にあり、その点の解説は、ほぼ毎日アップするユーチューブ解説(7月課題発表から試験前日まで)で対応しています。更に、会員対象に、個別の添削とメールでの質疑応答をすることで、資格学校と同じような学習レベルとなるようにしています。

【令和3年度 設計課題:集合住宅】

2021.10.11

本試験課題と予測課題との比較検証

【検証結果】

- ・本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証を、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
 - ・表1に示すように、課題(図面)で予測できなかったのは、テナント部門の学習塾です。予測課題2は、2部門の内容であり、交流室や会議室などを学習塾に変更すれば容易に計画できたと推定する(動線計画も試験と同じ外部動線あり)。
 - ・表2に示すように、課題(計画の要点等)で予測できなかったのは、住戸の在宅勤務のみであった。他はすべて「計画の要点等まとめ」や「ユーチューブ」で説明した内容である。
 - ・表1と表2からも明らかなように、令和3年の集合住宅において、研究会の予測3課題は、80%以上の的中と判断できる。
- ※本内容は、2021年10月11日にユーチューブで詳細に解説している。

表1 課題(図面)の比較検証

は類似内容

は的中できなかった

各社	課題名	建設用地				階数	指定床面積 以上~以下 (㎡)~(㎡)	東西南北の条件				要求室										屋上 面積 (㎡)	駐車場 車いす (台)	駐輪場 利用者 (台)	備考 地盤 傾斜 図示		
		規模 (㎡)	機	備	備			東	西	南	北	住宅部門				テナント部門		設備									
												住戸A 75㎡ 6戸	住戸B 50㎡ 6戸	住戸C 25㎡ 10戸	エントランス	事務室	ゴミ置場	カフェ	学習塾	受水槽	ポンプ室					電気室	EV
本試験	R3課題 2021.10.10	1,880	48	35	5階	~	道路	道路	開地	開地	75㎡ 6戸	50㎡ 6戸	25㎡ 10戸	適宜	適宜	15㎡	50㎡	400㎡	25㎡	15㎡	10㎡	1台	50㎡	1	4	40台 屋内	軟弱地盤 道路斜線
研究会	予測課題1 2021.8.9	1,750	50	35	3階	2,000 ~ 2,500	道路	開地	開地	道路	40㎡ 12戸	80㎡ 8戸		適宜	適宜	適宜	100㎡		適宜	15㎡	15㎡	1台	100㎡	1	1	18 屋内	軟弱地盤
	予測課題2 2021.8.23	1,700	34	50	5階	4,000 ~ 4,500	開地	開地	開地	道路	80㎡ 4戸	80㎡ 8戸	30㎡ 40戸	適宜	適宜	適宜	20席	交流 会議 200㎡		適宜		1台				30 屋外	
	予測課題3 2021.9.6	1,700	50	34	7階	2,800 ~ 3,300	道路	開地	道路	道路	110㎡ 15戸	50㎡ 6戸	50㎡ 6戸	適宜	適宜	適宜						1台		1	10	28 屋外	道路斜線

表2 課題(計画の要点等)の比較検証

赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会の検証結果
(1)	住戸A又は住戸Bについて、住戸内平面図をイメージ図記入欄に示したうえで、下記①~④についてそれぞれ記述する。	計画の要点等(表3設備計画2)で換気補足説明図およびユーチューブ説明
①	各居室の採光について考慮したこと	ユーチューブで「採光」について各種説明
②	在宅勤務について考慮したこと	在宅勤務は予測できなかった
③	住戸内の給排水について工夫したこと	ユーチューブで2重床の床スラブ上の「排水管」について説明
④	住戸内の給排水について工夫したこと	計画の要点等(表3設備計画2)で「住戸の換気方式について考慮したこと」解答例
(2)	住戸間の床や界壁の遮音対策について工夫したこと	ユーチューブで2重床の「遮音対策」および予測課題の解答図の補足説明
(3)	屋上庭園について、断面の構造等をイメージ図に記入したうえで、下記①~③について考慮したこと	計画の要点等(表2構造計画5)で屋上庭園の床スラブ図およびユーチューブ説明
①	梁断面、スラブ位置・厚さ	同上でスラブ断面・梁位置・厚さ寸法を説明
②	段差処理	同上で段差処理を説明
③	緑化計画、防水	同上で植樹対策および防水対策を説明
(4)	建築物の構造計画で建築物の特性に応じて採用した耐震計画ルートと耐震性を確保するために梁補筋計画等について考慮したこと	計画の要点等(表2構造計画7及び1)で耐震安全性と耐震計画および構造梁補筋を説明
(5)	地盤条件や経済性を踏まえて採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと	計画の要点等(表2構造計画3)で地盤条件や経済性の基礎構造、既存撤去地盤を説明